

様式第 1 号

令和 7 年 6 月 30 日

神奈川県知事 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 清水学園

〔代表者の役職〕 理事長

〔代表者の氏名〕 清水 裕

大学等における修学の支援に関する法律第 3 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	湘南平塚看護専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校 <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	神奈川県平塚市富士見町 5-17
学長又は校長の氏名	校長 志村 央子
設置者の名称	学校法人 清水学園
設置者の主たる事務所の所在地	神奈川県平塚市八重咲町 1 - 6
設置者の代表者の氏名	理事長 清水 裕
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.sg-kango.com

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp
第2号の1	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp
第2号の2	校長 志村 央子	0463-30-1900	Kango-kyoumu@shimizu-kuen.jp
第2号の3	校長 志村 央子	0463-30-1900	Kango-kyoumu@shimizu-kuen.jp
第2号の4	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- ☒ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

実務経験のある教員等による授業科目一覧

授 業 科 目			指定	学則単位		講師名	実務経験内容		
			規則	単位	時間				
基礎分野	科学的思考の基盤	文 化 人 類 学	14	1	30				
		運 動 の 理 論 と 健 康		1	15				
		音 楽 療 法		1	15				
		情 報 科 学		1	30				
		論 理 学		1	30				
	人間と生活・社会の理解	発 達 心 理 学		1	30				
		家 族 と 社 会		1	30				
		人 間 関 係 論		1	30				
		社 会 学		1	30				
		教 育 学		1	30				
		ケア・コミュニケーション		1	30				
		基 礎 英 語		1	30				
		臨 床 英 語		1	30				
		国 語 表 現 法		1	15				
		基礎分野小計	14	14	375				
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	16	2	45				
		人体の構造と機能Ⅱ		2	45				
		人体の構造と機能Ⅲ		1	15				
		生 命 と 生 化 学		1	30				
	疾病の成り立ちと回復の促進	疾 病 学 総 論		1	15				
		疾 病 治 療 論 Ⅰ		1	30	大野 隆	医師	病院勤務	
		疾 病 治 療 論 Ⅱ		1	30	鬼塚 圭一郎	医師	病院勤務	
						鎌田 修博	医師	病院勤務	
		疾 病 治 療 論 Ⅲ		2	45	小林 一郎	医師	病院勤務	
						斎藤 崇史	医師	病院勤務	
						田爪 圭	医師	病院勤務	
		疾 病 治 療 論 Ⅳ		1	30	松井 成明	臨床検査技師	病院勤務	
						齋藤 剛一	医師	病院勤務	
		疾 病 治 療 論 Ⅴ		1	30	栗原 佑一	医師	病院勤務	
						今村 嘉宣	歯科医師	病院勤務	
						森川 淳	医師	病院勤務	
						白石 亮	医師	病院勤務	
		微 生 物 学		1	30	田爪 正氣	医学博士	大学 病院勤務	
	健康支援と社会保障制	薬 理 学 Ⅰ		1	30	増田 豊	薬剤師	大学 病院勤務	
		薬 理 学 Ⅱ		1	15	増田 豊	薬剤師	大学 病院勤務	
		専門基礎分野小計	16	16	390				
	健康支援と社会保障制	健 康 科 学	6	1	15				
		社 会 福 祉		1	30				
		公 衆 衛 生 学		2	45				
		看 護 と 法 ・ 倫 理		1	30				
		関 係 法 規		1	15				
		専門基礎分野小計	6	6	135				
	専門基礎分野小計		22	22	525				
…		基 礎 看 護 学	11	10	270				
		地 域 ・ 在 宅 看 護 論	6	5	165				
		成 人 看 護 学	6	6	150				
		老 年 看 護 学	4	3	90				

授 業 科 目		指定	学則単位		講師名	実務経験内容
		規則	単位	時間		
専 門 分 野	学 科	小 児 看 護 学	4	3	75	
		母 性 看 護 学	4	4	105	
		精 神 看 護 学	4	4	105	
		領 域 横 断		5	135	
		看護の統合と実践	4	4	120	
	専 門 分 野 学 科 合 計		43	44	1,215	
	臨 地 実 習	基 礎 看 護 学 実 習	3	3	135	
		地域・在宅看護論実習	2	3	135	
		成人・老年看護学実習	4	8	360	
		老 年 看 護 学 実 習		1	45	
		小 児 看 護 学 実 習	2	2	90	
		母 性 看 護 学 実 習	2	2	90	
		精 神 看 護 学 実 習	2	2	90	
		統 合 実 習	2	2	90	
			6			
	専門分野実習小計		23	23	1,035	
	専門分野小計		66	67	2,250	
	全分野総計		102	103	3,150	

専門分野内訳

			指定 規則	学則単位		1年次		2年次		3年次	
				単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間
基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	看護に必要な技術、思考の概念	11	1	30	1	30				
	基礎看護学Ⅱ	日常生活技術1(環境・活動・休息・食事・排泄)		2	60	2	60				
	基礎看護学Ⅲ	日常生活技術2(清潔・衣生活)		1	30	1	30				
	基礎看護学Ⅳ	ヘルスアセスメント		2	45	2	45				
	基礎看護学Ⅴ	治療・検査に伴う援助技術		2	45	2	45				
	基礎看護学Ⅵ	看護過程		1	30	1	30				
	基礎看護学Ⅶ	臨床判断の基礎Ⅰ		1	30	1		1	30		
小 計			11	10	270	10	240	1	30		
地域・在宅看護論	地域・在宅看護論Ⅰ	在宅看護の基礎	6	1	30	1	30				
	地域・在宅看護論Ⅱ	在宅看護の技術		1	30			1	30		
	地域・在宅看護論Ⅲ	在宅看護の基礎活動方法と実践方法		1	30			1	30		
	地域・在宅看護論Ⅳ	疾患の理解と看護Ⅴ呼吸器・内分泌		1	30			1	30		
	地域・在宅看護論Ⅴ	職種間連携演習(合同演習)		1	45					1	45
小 計			6	5	165	1	30	3	90	1	45
成人看護学	成人看護学Ⅰ	健康段階別看護(各論)	6	2	45			2	45		
	成人看護学Ⅱ	疾患の理解と看護Ⅰ消化器 肝胆膵		2	45			2	45		
	成人看護学Ⅲ	疾患の理解と看護Ⅱ脳神経 循環器		1	30			1	30		
	成人看護学Ⅳ	疾患の理解と看護Ⅲ血液系 女性生殖		1	30			1	30		
小 計			6	6	150	0	0	6	150		
老年看護学	老年看護学Ⅰ	老年期の理解、高齢社会の理解	4	1	30	1	30				
	老年看護学Ⅱ	疾患の理解と看護Ⅳ骨・筋系 腎・泌尿器		1	30			1	30		
	老年看護学Ⅲ	老年看護の展開		1	30			1	30		
小 計			4	3	90	1	30	2	60		
小児看護学	小児看護学Ⅰ	子どもの成長発達と看護/日常生活援助技術	4	1	15	1	15				
	小児看護学Ⅱ	小児の疾患、状況別看護		1	30			1	30		
	小児看護学Ⅲ	子どもと家族への看護展開		1	30			1	30		
小 計			4	3	75	1	15	2	60		
母性看護学	母性看護学Ⅰ	女性のライフステージ各期におけるリクロダクティブヘルスケア	4	1	30	1	30				
	母性看護学Ⅱ	妊娠・分娩・産褥・新生児の生理と異常		1	30			1	30		
	母性看護学Ⅲ	妊娠・分娩・産褥・新生児期の看護		1	30			1	30		
	母性看護学Ⅳ	異常な過程の妊娠婦と・新生児期の看護		1	15			1	15		
小 計			4	4	105	1	30	3	75		
精神看護学	精神看護学Ⅰ	精神看護学の意義 対象 機能 役割 精神保健の動向	4	1	30	1	30				
	精神看護学Ⅱ	精神障害の基本的知識		1	15			1	15		
	精神看護学Ⅲ	主な症状・状態に対する看護		1	30			1	30		
	精神看護学Ⅳ	精神看護の展開		1	30			1	30		
小 計			4	4	105	1	30	3	75		

科目名	疾病治療論Ⅰ 消化器 肝・胆道系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年	
講師名	外部講師		実務経験内容		医師 病院勤務			学期	後期
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、消化器系、肝・胆道系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。									
学習目標									
消化器系：消化器の機能障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。									
肝・胆道系：肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。									
回	授業計画					方 法	評 価		
1	消化器系					講義			
2	1. 消化器の構造と機能								
3	2. 症状とその病態生理								
4	3. 検査と治療								
5	4. 疾患の理解：食道の疾患（逆流性食道炎、食道癌）								
6	4. 疾患の理解：胃・十二指腸疾患								
7	（急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌）								
8	4. 疾患の理解：腸および腹膜疾患								
9	（潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、痔瘻、イレウス、大腸ポリープ					講義			
10	結腸癌、直腸癌、鼠経ヘルニア、腹膜炎、横隔膜ヘルニア）								
11	肝・胆道系								
12	1. 肝・胆・膵系の構造と機能								
13・14	2. 症状とその病態生理					課題			
15	3. 検査と治療								
	4. 疾患の理解：肝臓・胆嚢の疾患								
	（肝炎、胆管炎、膵炎、肝硬変、肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵								
	脂肪肝、アルコール性肝炎、胆石症）								
	まとめ								
	終講試験、まとめ					終講試験（10割）			
		書 名				著 者		出版社	
テキスト		成人看護学⑤ 消化器				南川雅子他		医学書院	
参考図書		病気がみえる Vol.1 消化器						メディックメディア	

科目名	疾病治療論Ⅱ 脳神経 骨・筋系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年	
講師名	外部講師		実務経験内容		医師 病院勤務 医師 病院勤務			学期	後期
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、脳神経系、骨・筋系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。									
学習目標									
脳神経系：脳神経の基礎的なことから検査、診断、治療や個々の疾患について理解する。									
骨・筋系：姿勢の保持、移動に関わる骨・関節・神経の運動性障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。									
回	授業計画						方法	評価	
1	< A講義 > 脳神経系 1. 脳・神経系の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査・診断と治療・処置 4. 疾患の理解：脳疾患 (脳血管障害：くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、もやもや病) 4. 疾患の理解：脳疾患 (頭蓋内圧亢進症、脳腫瘍、頭部外傷) 4. 疾患の理解：末梢神経障害 (ギラン・バレー症候群、単ニューロパチー、顔面神経麻痺) 4. 疾患の理解：筋疾患・神経筋接合部疾患 (筋ジストロフィー、重症筋無力症) 4. 疾患の理解：脱髄・変性疾患 (多発性硬化症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症) 4. 疾患の理解：脳・神経系の感染症 (脳炎、髄膜炎) 4. 疾患の理解：てんかん < B講義 > 骨・筋系 1. 運動器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 診断・検査と治療 4. 疾患の理解：外傷性 (外因性) の運動器疾患 (骨折、脱臼、捻挫) 4. 疾患の理解：外傷性 (外因性) の運動器疾患 (脊髄損傷) 4. 疾患の理解：内因性 (非外傷性) の運動器疾患 (骨髄炎、関節炎、変形性関節症、腫瘍：骨肉腫、骨粗鬆症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア)						講義	終講試験 (5割)	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	終講試験、まとめ								
		書 名				著 者		出版社	
テキスト		成人看護学⑦ 脳神経				井手 隆文 他		医学書院	
		成人看護学⑩ 運動器				田中 栄 他		医学書院	
参考図書		ぜんぶわかる脳の事典				坂井 健雄		成美堂出版	
全体評価		A講義、B講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。							

科目名	疾病治療論Ⅲ 呼吸器 循環器 血液系	単位数	2	時間数	45	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第2学年									
講師名	外部講師	実務経験内容			医師 病院勤務 医師 病院勤務 医師 病院勤務			学期	全期								
科目の設定の理由																	
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、呼吸器系、循環器系、血液系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。 解剖学、生理学、生化学、細菌学（微生物学）で学んだ基礎知識を基に、異常が生じた場合の症状や症候の成り立ちや重要性を理解し覚えることは大切である。これらをもとにし、異常が生じた場合の症状や症候の成り立ちや重要性を理解し覚えることが必要である。これらの学習を通して一般的な思考方法を学んでいくことはこれからの学習に重要である。																	
学習目標																	
呼吸器系：呼吸器系の障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。 循環器系：循環器障害を起こす疾患と検査・治療を理解する 血液系：造血機能の異常を起こす疾患と検査・治療を理解する。																	
回	授業計画						方 法	評 価									
1	< A 講義 > 呼吸器系 1. 呼吸器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：感染症（気管支炎、肺炎、結核）、間質性肺炎 4. 疾患の理解：気道疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）） 4. 疾患の理解：肺循環障害（肺血栓塞栓症、肺高血圧症） 4. 疾患の理解：肺腫瘍（肺癌、中皮腫） 4. 疾患の理解：胸膜・縦隔・横隔膜の疾患（胸膜炎、気胸）						講義	終講試験（3割）									
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8	< B 講義 > 循環器系 1. 循環器系の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：虚血性心疾患、心不全、血圧異常、不整脈 4. 疾患の理解：弁膜症、感染性心内膜炎、心膜炎、心タンポナーデ 4. 疾患の理解：心筋症、心筋炎、先天性心疾患 （動脈管開存症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症） 4. 疾患の理解：動脈系疾患（大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症） 4. 疾患の理解：静脈系疾患（深部静脈血栓症、静脈瘤）						講義	終講試験（5割）									
9																	
10～17																	
18・19																	
20																	
21																	
22																	
< C 講義 > 血液系 1. 血液の生理と造血のしくみ 2. 検査・診断 3. 症候とその病態生理 4. 疾患と治療の理解：赤血球系の異常 （鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、二次性貧血） 4. 疾患と治療の理解：白血球減少症、出血性疾患（TTP、ITP、DIC） 4. 疾患と治療の理解：造血器腫瘍 （白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）										講義	終講試験（2割）						
													22				
終講試験																	
		書 名				著 者		出版社									
テキスト		成人看護学② 呼吸器				浅野 浩一郎 他		医学書院									
		成人看護学③ 循環器				阿部 光樹 他		医学書院									
		成人看護学④ 血液・造血器				飯野 京子他		医学書院									
参考図書		病気が見える Vol.5 血液 第2版 細胞図鑑				鈴木 茂 監修		メディックメディア 新星出版社									
全体評価		A講義、B講義、C講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。 ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。															

科目名	疾病治療論Ⅳ 内分泌 女性生殖器 腎・泌尿器系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第2学年	
講師名	外部講師		実務経験内容		臨床検査技師 病院勤務 医師 病院勤務			学期	前期
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化するために、内分泌・代謝系、女性生殖器系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。									
学習目標									
内分泌・代謝系：内分泌機能の低下・亢進を起こす疾患と検査、治療を理解する。 女性生殖器系：女性生殖機能障害を起こす疾患と検査、治療を理解する。 腎：腎機能に関する理解を基に、腎機能検査の目的、方法が分かる。また、腎機能障害の症状および程度とそれに対する治療方法が理解できる。 泌尿器：看護師としてしばしば見る疾患について、検査や治療を学ぶ。排尿管理を考える手技を学ぶ。									
回	授業計画						方法	評価	
1	<A講義>内分泌・代謝系 1. 内分泌器官の構造と機能 2. 代謝の概要と機能 3. 症状とその病態生理 4. 検査 5. 内分泌疾患の理解：視床下部一下垂体前葉系疾患、視床下部一下垂体紅葉疾患						講義	終講試験（3割）	
2									
3									
4									
5									
6	5. 内分泌疾患の理解：甲状腺疾患 (甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎) 5. 内分泌疾患の理解：副甲状腺疾患、副腎疾患、腫瘍 (下垂体腫瘍、甲状腺癌) 5. 代謝疾患の理解：糖尿病、脂質異常症 肥満症とメタボリックシンドローム、尿酸代謝異常 <B講義>女性生殖器系 1. 女性生殖器系の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 診察・検査と治療・処置 4. 疾患の理解：子宮の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、子宮体癌、子宮頸癌） 4. 疾患の理解：卵巣の疾患（卵巣嚢腫）、乳房の疾患（乳腺炎、乳腺症、乳癌） 4. 疾患の理解：機能的疾患（月経異常・月経随伴症状、更年期障害）						講義	終講試験（3割）	
7									
8									
9									
10									
11	<C講義>腎・泌尿器系 1. 腎臓・尿管・膀胱・尿道・男性生殖器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：腎不全とAKI・CKD、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎 4. 疾患の理解：全身性疾患による腎障害 4. 疾患の理解：尿路・性器の感染症（腎盂腎炎、膀胱炎） 4. 疾患の理解：前立腺炎、前立腺肥大症、尿路結石症 尿路・性器の腫瘍（腎癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌）						講義	終講試験（4割）	
12									
13									
14									
15									
終講試験									
		書 名				著 者		出版社	
テキスト		成人看護学⑥ 内分泌・代謝				繪本 正憲他 編集		医学書院	
		成人看護学⑨ 女性生殖器				池田 正 他		医学書院	
		成人看護学⑧ 腎・泌尿器				今井亜矢子他		医学書院	
参考図書		病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌				森野勝太郎他 監修		メディックメディア	
		病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科				井上 裕美他監修		メディックメディア	
		病気がみえる vol.8 腎・泌尿器				池森（上條）敦子他監修		メディックメディア	
全体評価		A講義、B講義、C講義それぞれ6割に満たなかった場合は再試験を実施する。A講義、B講義、C講義を合わせた点数が最終評価となり、合計6割以上で単位修得とする。							

科目名	疾病治療論Ⅴ 耳鼻咽喉 皮膚 眼 歯科	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第3学年	
講師名	外部講師	実務経験内容	医師 病院勤務/医師 病院勤務 医師 病院勤務/歯科医師 病院勤務				学期	全期	
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化するために、耳鼻咽喉、皮膚、眼、歯科口腔の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。									
学習目標									
1) 耳鼻咽喉：耳鼻咽喉にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 2) 皮膚：皮膚にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 3) 眼：眼にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 4) 歯科口腔：歯科口腔にかかわる検査・治療と疾患を理解する。									
回	授業計画					方法	評価		
1	<A講義>耳鼻咽喉 1. 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解：咽頭炎、扁桃炎、メニエール病、咽頭癌					講義	終講試験（1割）		
2						課題 講義	終講試験（3割）		
3～6							課題 講義	終講試験（3割）	
7～10								終講試験（3割）	
11～14	講義 演習	終講試験（3割）							
15	終講試験、まとめ								
		書 名				著 者	出版社		
テキスト		成人看護学⑫ 皮膚				渡辺 晋一 他	医学書院		
		成人看護学④ 眼・耳鼻咽喉科・歯・口腔				生井 明浩 他	医学書院		
参考図書		病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科				松村 譲児他監修	メディックメディア		
		病気がみえる vol.14 皮膚科				桃島 健治他監修	メディックメディア		
		病気がみえる vol.12 眼科				村田 敏規他監修	メディックメディア		
全体評価		A講義、B講義、C講義、D講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。							

科目名	微生物学	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年	
講師名	外部講師		実務経験内容		医学博士 大学 病院勤務			学期	前期
科目の設定の理由									
新しい感染症の出現【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）感染症など】，すでに解決済みと考えられていた感染症の復活【結核症など】，ますます深刻化する薬剤耐性菌による医療関連感染【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）やバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）など】，このように感染症を取りまく環境は複雑化し，かつ制御するのが困難な疾病として再認識されるようになった。将来医療現場で活躍する学生は，このような感染症の問題に対処するために微生物学・感染症学の知識を習得して，安全な医療を実現しなければならない。									
学習目標									
1. 病原体（細菌・ウイルス・真菌・寄生虫・プリオン）の概念，性質及び特徴を説明できる。 2. 病原体による疾患の発症機序や特徴を説明できる。 3. 医療関連感染をはじめとする各種感染症の予防（標準予防策，滅菌・消毒法，ワクチン）について説明できる。 4. 各種感染症の検査材料の取り扱い方や治療（化学療法剤）について説明できる。 5. 免疫の概念，生体防御機構における免疫反応について説明できる。									
回	授業計画						方法	評価	
1	病原微生物の基礎知識						講義		
2	感染症とは								
3	感染症の診断・検査・治療								
4	感染症の予防対策（1）								
5	感染症の予防対策（2）								
6	感染に対する生体防御機構（1）								
7	感染に対する生体防御機構（2）								
8	病原細菌と細菌感染症（1）								
9	病原細菌と細菌感染症（2）								
10	病原ウイルスとウイルス感染症（1）								
11	病原ウイルスとウイルス感染症（2）								
12	真菌・原虫・蠕虫感染症								
13	感染性食中毒・性感染症								
14	人畜共通感染症・昆虫媒介感染症								
15	終講試験、まとめ								
							終講試験（10割）		
		書名				著者		出版社	
テキスト		疾病のなりたちと回復の促進④ 微生物学				南嶋 洋一他		医学書院	
参考図書		イラストでわかる微生物学超入門				齊藤光正		南山堂	
		感染対策 完全図解 マニュアル				インフェクションコントロール編集室		メディカ出版	
		いちばんやさしい免疫学				安部良・西村尚子		成美堂出版	

科目名	薬理学Ⅰ	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年				
講師名	外部講師		実務経験内容		薬剤師 薬学博士 大学教授			学期	後期			
科目の設定の理由												
現代の高度化した医療ではチーム医療が重視されており、薬物治療においても、看護師・医師・薬剤師をはじめとする多職種連携は非常に重要である。患者に接する時間・機会が最も多い看護師には、薬物の作用や副作用、投与するときの注意点などを十分に理解し、薬物の作用を十分に引き出すとともに、医療事故の防止に寄与することが求められている。薬物療法に関わる看護師として、薬に関する基礎知識を身につけ今後の学習に発展できるように科目を設定した。												
学習目標												
1. 薬の種類と基礎的な作用・効能を理解する。												
2. 代表的な疾患とその治療薬について理解する。												
回	授業計画						方法	評価				
1	薬理学を学ぶにあたって						講義	終講試験（10割）				
2	薬理学の基礎知識											
3	薬理学の基礎知識 2											
4	抗感染症薬											
5～6	抗がん薬											
7	免疫治療薬											
8	抹消神経系に作用する薬物											
9～11	循環器系に作用する薬物											
12～13	物質代謝に作用する薬物											
14	消毒薬											
15	終講試験											
		書名				著者				出版社		
テキスト		疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学				吉岡 充弘 他				医学書院		
参考図書		薬がみえる vol. 1				野元 正弘他監修				メディックメディア		
		薬がみえる vol. 2				弘世 貴久他監修				メディックメディア		
		薬がみえる vol. 3				福本 陽平他監修		メディックメディア				
		薬がみえる vol. 4				田村 和弘他監修		メディックメディア				

科目名	薬理学Ⅱ 臨床薬理学	単位数	1	時間数	15	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第3学年
講師名	外部講師	実務経験内容		薬剤師 薬学博士 大学教授			学期	前期
科目の設定の理由								
医療の中で薬物療法は重要な位置を占めており、看護師にとっても医薬品の知識の修得は必須事項である。薬理学Ⅱでは1年次に学んだ薬理学Ⅰを基本とし、チーム医療の一員として治療に貢献できる看護師を育て、且つ実際の臨床現場でより役立つ科目として設定した。								
学習目標								
1. 生活習慣病、がん、感染症などの疾患に焦点をあて、薬物療法の効果、投与方法、有害作用及び服薬指導等について学習する。								
2. 薬物療法における患者の安全確保、看護における注意点を学習する。								
3. 医師と看護師との連携について学習する。								
回	授業計画						方 法	評 価
1	1. 薬理学総論（第1部）						講義	終講試験（10割）
2	2. 抗感染症薬（第2部；第3章）							
3	3. 抗がん剤（第2部：第4章）							
4	4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬（第2部：第6章）							
5	5. 末梢での神経活動に作用する薬物（第2部：第7章）							
6	6. 中枢神経系に作用する薬物（第2部：第8章）							
7	7. 国家試験対策							
8	終講試験、まとめ							
		書 名				著 者		出版社
テキスト		疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学				吉岡 充弘 他		医学書院
参考図書		薬がみえる vol. 1				野元 正弘他監修		メディックメディア
		薬がみえる vol. 2				弘世 貴久他監修		メディックメディア
		薬がみえる vol. 3				福本 陽平他監修		メディックメディア
		薬がみえる vol. 4				田村 和弘他監修		メディックメディア

役員等氏名一覧表

令和7年6月13日現在の役員

役職名	氏名		生年月日				性別	住所	学外
	かな	漢字	元号	年	月	日			
代表者 理事長	シミズ ユカ	清水 裕	S	33	07	30	M	平塚市花水台14-44	
理 事	タカハシ トシオ	高橋 利夫	S	19	08	27	M	足柄上郡山北町143-20	○
理 事	ネガシ タツロウ	根岸 達郎	S	15	08	09	M	平塚市八千代町3-10	○
理 事	オオナカミ ジロウ	大中臣 二郎	S	17	07	10	M	藤沢市羽鳥1-1-60 ライフハウス湘南辻堂301	○
理 事	シミズ サシ	清水 怜	H	03	10	20	M	平塚市黒部丘6-73 シティテラス湘南平塚713	
理 事	モリ セイジ	森 誠司	S	37	01	23	M	平塚市東八幡2-12-11	○
幹 事	イシイ ヤスヨシ	石井 雍良	S	13	07	22	M	平塚市花水台5-1	○
幹 事	タカギ カズマ	高木 一磨	S	51	07	24	M	平塚市めぐみが丘1-4-22	○

記載された全ての者は、代表者又は役員に暴力団員がいないことを確認するため、本様式に記載された情報を神奈川県警察本部に照会することについて、同意しております。

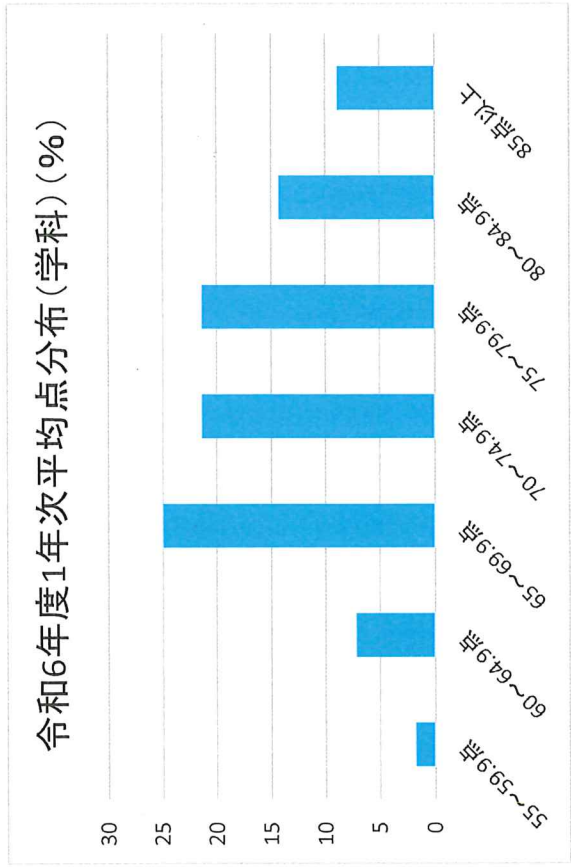
法人所在地 平塚市八重咲町1-6

法人名 学校法人清水学園

代表者職・氏名 理事長 清水 裕

添付資料 客観的な指標に基づく成績の分布状況

点数	55～59.9点	60～64.9点	65～69.9点	70～74.9点	75～79.9点	80～84.9点	85点以上
割合	1.8	7.2	25	21.4	21.4	14.3	8.9



* 下位4分の1

点数	55～59.9点	60～64.9点	65～69.9点	70～74.9点
人数	1	4	9	0

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	H114320300032	学校名	湘南平塚看護専門学校
設置者名	学校法人 清水学園		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	609,609,367円	656,717,983円	-47,108,616円
申請2年度前の決算	675,496,430円	631,298,678円	44,197,752円
申請3年度前の決算	705,322,334円	650,180,847円	55,141,487円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	833,175,256円	110,149,034円	723,026,222円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	360人	175人	48%
前年度	360人	244人	67%
前々年度	360人	274人	76%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況			

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況			

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
現金預金		833,175,256円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
長期借入金		64,518,000円
短期借入金		11,964,000円
未払金		33,667,034円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 3 1 日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	(1,845,631,605)	(1,901,948,023)	(△ 56,316,418)
有 形 固 定 資 産	(1,826,622,968)	(1,883,244,722)	(△ 56,621,754)
土 地	457,231,955	457,231,955	0
建 物	1,227,191,887	1,275,877,543	△ 48,685,656
構 築 物	15,077,894	17,331,063	△ 2,253,169
教育研究用機器備品	57,250,905	65,698,283	△ 8,447,378
管理用機器備品	11,173,148	9,957,213	1,215,935
図 書	43,643,788	43,387,497	256,291
車 両	15,053,391	13,761,168	1,292,223
建設仮勘定	0	0	0
特 定 資 産	(0)	(0)	(0)
その他の固定資産	(19,008,637)	(18,703,301)	(305,336)
電 話 加 入 権	302,915	302,915	0
施 設 利 用 権	10,152,782	10,343,448	△ 190,666
ソ フ ト ウ ェ ア	750,934	333,667	417,267
保 証 金	3,750,000	3,750,000	0
出 資 金	110,000	110,000	0
保 険 積 立 金	3,942,006	3,863,271	78,735
長期前払費用	0	0	0
流 動 資 産	(853,052,609)	(918,775,645)	(△ 65,723,036)
現 金 預 金	833,175,256	891,905,044	△ 58,729,788
未 収 入 金	13,440,580	21,120,378	△ 7,679,798
貯 蔵 品	4,261,573	2,817,497	1,444,076
貸 付 金			0
立 替 金	1,687,810	2,048,380	△ 360,570
前 払 金	386,470	536,422	△ 149,952
仮 払 金	0	239,184	△ 239,184
預 託 金	100,920	108,740	△ 7,820
資 産 の 部 合 計	2,698,684,214	2,820,723,668	△ 122,039,454
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	(192,723,080)	(195,384,449)	(△ 2,661,369)
長 期 借 入 金	64,518,000	71,980,000	△ 7,462,000
退職給与引当金	128,205,080	123,404,449	4,800,631
流 動 負 債	(291,682,851)	(365,094,242)	(△ 73,411,391)
短 期 借 入 金	11,964,000	14,467,000	△ 2,503,000
未 払 金	33,667,034	29,189,262	4,477,772
前 受 金	176,344,460	234,600,740	△ 58,256,280
預 り 金	69,707,357	86,241,840	△ 16,534,483
仮 受 金	0	595,400	△ 595,400
	0	0	0
負 債 の 部 合 計	484,405,931	560,478,691	△ 76,072,760
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	(3,063,979,415)	(3,052,131,852)	(11,847,563)
第 1 号 基 本 金	3,063,979,415	3,052,131,852	11,847,563
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△ 849,701,132	△ 791,886,875	△ 57,814,257
純 資 産 の 部 合 計	2,214,278,283	2,260,244,977	△ 45,966,694
負債及び純資産の部合計	2,698,684,214	2,820,723,668	△ 122,039,454

事業活動収支計算書

令和 6 年 4 月 1 日 から

令和 7 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

	科 目	予 算		決 算		差 異	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(	337,950,000)	(	337,753,700)	(	196,300)
	授 業 料		294,850,000		294,767,000		83,000
	入 学 金		20,200,000		20,200,000		0
	実 験 実 習 料		12,500,000		12,420,000		80,000
	施 設 設 備 資 金		9,500,000		9,517,500	△	17,500
	冷 暖 房 費		400,000		366,700		33,300
	特 別 教 育 協 力 費		500,000		482,500		17,500
	手 数 料	(	4,671,000)	(	4,627,400)	(	43,600)
	入 学 検 定 料		1,770,000		1,737,000		33,000
	試 験 料		2,740,000		2,738,000		2,000
	証 明 手 数 料		161,000		152,400		8,600
	寄 付 金	(	0)	(	0)	(	0)
	経常費等補助金	(	238,900,000)	(	238,723,590)	(	176,410)
	県 補 助 金		79,000,000		78,867,561		132,439
	市 補 助 金		2,400,000		2,342,720		57,280
	施 設 型 給 付 費		157,500,000		157,513,309	△	13,309
	保 育 給 付 費		0		0		0
	付随事業収入	(	16,700,000)	(	16,694,614)	(	5,386)
	補 助 活 動 収 入		16,700,000		16,694,614		5,386
	雑 収 入	(	11,580,000)	(	11,480,477)	(	99,523)
	施 設 設 備 利 用 料		2,080,000		2,079,341		659
	退職基金財団給付金収入		6,840,000		6,768,500		71,500
	そ の 他 の 雑 収 入		2,660,000		2,632,636		27,364
	教育活動収入計		609,801,000		609,279,781		521,219

(単位 円)

教育活動収入の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
			(	(	(
		人 件 費	415,300,000)	413,402,952)	1,897,048)
		教 員 人 件 費	297,050,000	296,268,822	781,178
		職 員 人 件 費	73,400,000	72,748,791	651,209
		役 員 報 酬	33,000,000	32,816,208	183,792
		退職給与引当金繰入額	5,000,000	4,800,631	199,369
		退 職 金	6,850,000	6,768,500	81,500
		経 費	(243,725,500)	(242,502,262)	(1,223,238)
		消 耗 品 費	9,200,000	8,900,291	299,709
		光 熱 水 費	14,100,000	14,011,528	88,472
		旅 費 交 通 費	5,860,000	5,825,798	34,202
		奨 学 費	28,400,000	28,526,900	△ 126,900
		修 繕 費	2,300,000	2,255,529	44,471
		減 価 償 却 額	74,500,000	74,268,293	231,707
		厚 生 費	4,280,000	4,210,217	69,783
		通 信 費	7,310,000	7,322,079	△ 12,079
		印 刷 製 本 費	7,050,000	6,967,532	82,468
		報 酬	7,550,000	7,508,811	41,189
		諸 会 費	1,600,000	1,535,862	64,138
		車 両 関 連 費	2,520,000	2,459,264	60,736
		委 託 料	15,820,000	15,769,900	50,100
		賃 借 料	10,420,000	10,400,130	19,870
		損 害 保 険 料	1,750,000	1,729,735	20,265
		公 租 公 課	515,000	498,600	16,400
		広 報 費	25,100,000	24,995,338	104,662
		保 健 衛 生 費	115,000	104,796	10,204
		行 事 費	1,350,000	1,315,491	34,509
		研 修 費	1,010,500	987,347	23,153
		支 払 手 数 料	1,150,000	1,133,250	16,750
		交 際 接 待 費	6,430,000	6,410,679	19,321
		補 助 活 動 費	15,300,000	15,258,122	41,878
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	659,025,500	655,905,214	3,120,286
		教育活動収支差額	△ 49,224,500	△ 46,625,433	△ 2,599,067

(単位 円)

教育活動収入の部	事業活動収入の部	科目	予 算	決 算	差 異		
		受取利息・配当金	(336,000)	(329,586)	(6,414)		
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	336,000	329,586	6,414		
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)		
		教育活動外収入計	336,000	329,586	6,414		
		事業活動支出の部					
特別収入	事業活動収入の部	借入金等利息	(823,000)	(812,769)	(10,231)		
		借 入 金 利 息	823,000	812,769	10,231		
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)		
		教育活動外支出計	823,000	812,769	10,231		
		教育活動外収支差額	△ 487,000	△ 483,183	△ 3,817		
		経 常 収 支 差 額	△ 49,711,500	△ 47,108,616	△ 2,602,884		
		特別支出	事業活動支出の部	資産売却差額	(800,000)	(788,180)	(11,820)
				設 備 売 却 差 額	800,000	788,180	11,820
その他の特別収入	(450,000)			(445,789)	(4,211)		
過 年 度 修 正 額	450,000			445,789	4,211		
特別収入計	1,250,000			1,233,969	16,031		
資産処分差額	(7)			(7)	(0)		
設 備 処 分 差 額	7			7	0		
その他の特別支出	(93,000)	(92,040)	(960)				
過 年 度 修 正 額	93,000	92,040	960				
特別支出計	93,007	92,047	960				
特 別 収 支 差 額	1,156,993	1,141,922	15,071				
〔予備費〕		(0)		0			
		0		0			
基本金組入前当年度収支差額		△ 48,554,507	△ 45,966,694	△ 2,587,813			
基本金組入額合計		△ 11,800,000	△ 11,847,563	47,563			
当年度収支差額		△ 60,354,507	△ 57,814,257	△ 2,540,250			
前年度繰越収支差額		△ 791,886,875	△ 791,886,875	0			
基本金取崩額		0	0	0			
翌年度繰越収支差額		△ 852,241,382	△ 849,701,132	△ 2,540,250			
(参考)							
事業活動収入計		611,387,000	610,843,336	543,664			
事業活動支出計		659,941,507	656,810,030	3,131,477			

事業活動収支計算書

令和 5 年 4 月 1 日 から
令和 6 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金	(380,465,000)	(379,904,000)	(561,000)
	授 業 料	332,200,000	331,667,600	532,400
	入 学 金	23,800,000	23,800,000	0
	実 験 実 習 料	13,600,000	13,590,000	10,000
	施 設 設 備 資 金	10,100,000	10,084,500	15,500
	冷 暖 房 費	385,000	381,900	3,100
	特 別 教 育 協 力 費	380,000	380,000	0
	手 数 料	(5,885,000)	(5,536,551)	(348,449)
	入 学 検 定 料	2,180,000	2,094,000	86,000
	試 験 料	3,500,000	3,255,000	245,000
	証 明 手 数 料	205,000	187,551	17,449
	寄 付 金	(0)	(0)	(0)
	経常費等補助金	(267,000,000)	(266,488,353)	(511,647)
	県 補 助 金	55,900,000	55,866,454	33,546
	市 補 助 金	2,100,000	2,040,700	59,300
	施 設 型 給 付 費	209,000,000	208,581,199	418,801
	付随事業収入	(14,500,000)	(14,429,583)	(70,417)
	補 助 活 動 収 入	14,500,000	14,429,583	70,417
	雑 収 入	(9,460,000)	(9,130,087)	(329,913)
	施 設 設 備 利 用 料	1,860,000	1,810,892	49,108
	退職基金財団給付金収入	4,400,000	4,293,748	106,252
	そ の 他 の 雑 収 入	3,200,000	3,025,447	174,553
	教育活動収入計	677,310,000	675,488,574	1,821,426

(単位 円)

教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人 件 費	(395,700,000)	(395,387,577)	(312,423)
		教 員 人 件 費	280,400,000	280,357,884	42,116
		職 員 人 件 費	70,500,000	70,449,727	50,273
		役 員 報 酬	31,500,000	31,483,668	16,332
		退職給与引当金繰入額	4,700,000	4,602,550	97,450
		退 職 金	8,600,000	8,493,748	106,252
		経 費	(238,267,000)	(235,262,719)	(3,004,281)
		消 耗 品 費	8,600,000	8,339,387	260,613
		光 熱 水 費	13,000,000	12,719,836	280,164
		旅 費 交 通 費	4,870,000	4,480,687	389,313
		奨 学 費	30,600,000	30,512,200	87,800
		修 繕 費	800,000	746,649	53,351
		減 価 償 却 額	75,000,000	74,690,412	309,588
		厚 生 費	4,480,000	4,416,716	63,284
		通 信 費	7,350,000	7,301,843	48,157
		印 刷 製 本 費	7,950,000	7,891,149	58,851
		報 酬	7,250,000	7,224,498	25,502
		諸 会 費	1,350,000	1,313,085	36,915
		車 両 関 連 費	2,950,000	2,861,600	88,400
		委 託 料	18,400,000	18,027,996	372,004
		賃 借 料	10,400,000	10,334,625	65,375
		損 害 保 険 料	1,200,000	1,181,370	18,630
		公 租 公 課	212,000	202,100	9,900
		広 報 費	21,500,000	21,152,327	347,673
		保 健 衛 生 費	205,000	193,806	11,194
		行 事 費	1,100,000	1,080,330	19,670
		研 修 費	850,000	795,031	54,969
		支 払 手 数 料	950,000	947,766	2,234
		交 際 接 待 費	6,550,000	6,230,796	319,204
		補 助 活 動 費	12,700,000	12,618,510	81,490
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	633,967,000	630,650,296	3,316,704
		教育活動収支差額	43,343,000	44,838,278	△ 1,495,278

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	受取利息・配当金	(8,500)	(7,856)	(644)
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	8,500	7,856	644
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	8,500	7,856	644
	事業活動支出の部				
		借入金等利息	(700,000)	(648,382)	(51,618)
		借 入 金 利 息	700,000	648,382	51,618
その他の教育活動外支出		(0)	(0)	(0)	
	教育活動外支出計	700,000	648,382	51,618	
	教育活動外収支差額	△ 691,500	△ 640,526	△ 50,974	
		経 常 収 支 差 額	42,651,500	44,197,752	△ 1,546,252
特別収入の部	事業活動収入の部	資産売却差額	(500,000)	(471,719)	(28,281)
		設 備 売 却 差 額	500,000	471,719	28,281
		その他の特別収入	(200,000)	(163,098)	(36,902)
		過 年 度 修 正 額	200,000	163,098	36,902
		特別収入計	700,000	634,817	65,183
	事業活動支出の部	資産処分差額	(1,000)	(5)	(995)
		設 備 処 分 差 額	1,000	5	995
		その他の特別支出	(17,900,000)	(17,646,726)	(253,274)
		過 年 度 修 正 額	17,900,000	17,646,726	253,274
		特別支出計	17,901,000	17,646,731	254,269
特 別 収 支 差 額		△ 17,201,000	△ 17,011,914	△ 189,086	
〔予備費〕		(1,000,000)		0	
		1,000,000			
基本金組入前当年度収支差額		24,450,500	27,185,838	△ 2,735,338	
基本金組入額合計		△ 23,000,000	△ 23,052,163	52,163	
当年度収支差額		1,450,500	4,133,675	△ 2,683,175	
前年度繰越収支差額		△ 796,020,550	△ 796,020,550	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 770,826,731	△ 791,886,875	21,060,144	
(参考)					
事業活動収入計		678,018,500	676,131,247	1,887,253	
事業活動支出計		652,568,000	648,945,409	3,622,591	

事業活動収支計算書

令和 4 年 4 月 1 日 から
令和 5 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

事業活動収入の部	科目	予 算		決 算		差 異	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	(	396,850,000)	(	393,759,000)	(	3,091,000)
	授 業 料		337,900,000		334,960,000		2,940,000
	入 学 金		34,800,000		34,800,000		0
	実 験 実 習 料		13,500,000		13,433,000		67,000
	施 設 設 備 資 金		9,900,000		9,825,000		75,000
	冷 暖 房 費		370,000		361,000		9,000
	特 別 教 育 協 力 費		380,000		380,000		0
	手 数 料	(	6,525,000)	(	6,238,951)	(	286,049)
	入 学 検 定 料		2,850,000		2,776,000		74,000
	試 験 料		3,500,000		3,296,000		204,000
	証 明 手 数 料		175,000		166,951		8,049
	寄 付 金	(	0)	(	0)	(	0)
	経常費等補助金	(	268,500,000)	(	266,859,899)	(	1,640,101)
	県 補 助 金		75,000,000		74,958,447		41,553
	市 補 助 金		1,500,000		1,499,150		850
	施 設 型 給 付 費		190,000,000		188,409,182		1,590,818
	保 育 給 付 費		2,000,000		1,993,120		6,880
	付随事業収入	(	15,000,000)	(	14,980,244)	(	19,756)
	補 助 活 動 収 入		15,000,000		14,980,244		19,756
	雑 収 入	(	23,600,000)	(	23,476,645)	(	123,355)
	施 設 設 備 利 用 料		2,150,000		2,125,208		24,792
	退職基金財団給付金収入		16,600,000		16,515,621		84,379
	そ の 他 の 雑 収 入		4,850,000		4,835,816		14,184
	教育活動収入計		710,475,000		705,314,739		5,160,261

(単位 円)

教育活動収入の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人 件 費	(410,100,000)	(409,470,168)	(629,832)
		教 員 人 件 費	289,900,000	289,502,703	397,297
		職 員 人 件 費	67,500,000	68,312,028	△ 812,028
		役 員 報 酬	31,500,000	30,630,039	869,961
		退職給与引当金繰入額	4,500,000	4,385,457	114,543
		退 職 金	16,700,000	16,639,941	60,059
		経 費	(242,820,000)	(239,801,132)	(3,018,868)
		消 耗 品 費	11,800,000	11,547,401	252,599
		光 熱 水 費	15,500,000	15,296,494	203,506
		旅 費 交 通 費	4,050,000	4,376,982	△ 326,982
		奨 学 費	29,000,000	28,801,600	198,400
		修 繕 費	13,650,000	13,607,146	42,854
		減 価 償 却 額	67,000,000	66,684,060	315,940
		厚 生 費	4,250,000	4,077,152	172,848
		通 信 費	6,000,000	5,855,002	144,998
		印 刷 製 本 費	5,100,000	5,006,886	93,114
		報 酬	6,800,000	6,741,564	58,436
		諸 会 費	1,500,000	1,301,710	198,290
		車 両 関 連 費	2,000,000	1,983,268	16,732
		委 託 料	19,400,000	19,019,523	380,477
		賃 借 料	10,420,000	10,360,984	59,016
		損 害 保 険 料	1,150,000	1,113,710	36,290
		公 租 公 課	2,000,000	1,906,100	93,900
		広 報 費	20,500,000	19,937,626	562,374
		保 健 衛 生 費	400,000	350,814	49,186
		行 事 費	1,050,000	1,011,857	38,143
		研 修 費	800,000	787,850	12,150
		支 払 手 数 料	1,150,000	1,079,909	70,091
		交 際 接 待 費	5,750,000	5,577,887	172,113
		補 助 活 動 費	13,500,000	13,375,607	124,393
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	652,920,000	649,271,300	3,648,700
		教育活動収支差額	57,555,000	56,043,439	1,511,561

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	(9,500)	(7,595)	(1,905)
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	9,500	7,595	1,905
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	9,500	7,595	1,905
	事業活動支出の部				
		借入金等利息	(1,000,000)	(909,547)	(90,453)
		借 入 金 利 息	1,000,000	909,547	90,453
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
	教育活動外支出計	1,000,000	909,547	90,453	
	教育活動外収支差額	△ 990,500	△ 901,952	△ 88,548	
		経 常 収 支 差 額	56,614,500	55,141,487	1,473,013
特 別 収 支	事業活動収入の部	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(15,078,000)	(15,078,000)	(0)
		施 設 設 備 補 助 金	15,078,000	15,078,000	0
	特別収入計	15,078,000	15,078,000	0	
	事業活動支出の部	資産処分差額	(0)	(26)	(△ 26)
		設 備 処 分 差 額	0	26	△ 26
		その他の特別支出	(50,000)	(22,000)	(28,000)
		過 年 度 修 正 額	50,000	22,000	28,000
		特別支出計	50,000	22,026	27,974
		特 別 収 支 差 額	15,028,000	15,055,974	△ 27,974
		〔予備費〕	(0) 0		0
		基本金組入前当年度収支差額	71,642,500	70,197,461	1,445,039
		基本金組入額合計	△ 29,300,000	△ 29,565,381	265,381
		当年度収支差額	42,342,500	40,632,080	1,710,420
		前年度繰越収支差額	△ 836,652,630	△ 836,652,630	0
		基本金取崩額	0	0	0
		翌年度繰越収支差額	△ 794,310,130	△ 796,020,550	1,710,420
(参考)					
		事業活動収入計	725,562,500	720,400,334	5,162,166
		事業活動支出計	653,920,000	650,202,873	3,717,127

令和7年6月30日

確認申請を行う年度において設置している学部（学科）の一覧

学校名	湘南平塚看護専門学校
設置者名	学校法人 清水学園
学科名	看護学科